

保育内容演習・人間関係	2年 前期		演習1単位	担当教員名	齋藤 亮一
	卒選	幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 子どもたちを人とかかわりという側面で、どのように育てていくのかについて学ぶ。 ② 目標・保育者をめざす者自身の人間関係について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 園生活の中で子どもたちの人とかかわり方がどのように変化し、そのかかわりを通して、子どもたちの中に何が育つか。それぞれの発達過程にある子どもたちに保育者としてどのように援助するかを学ぶ。 子どもたちの人間関係の育ちを取り囲む大人同士の人間関係のあり方を考える。 					
授業の概要 人間関係が希薄になりがちな現代社会の中で育つ子どもたちにとって、自分の存在も周りの人の存在も大切に思える経験を重ねる場として、幼稚園や保育所はますます重要な場になっている。そして、その場で子どもたちに直接かかわる人として、保育者の存在の重要性もますます増している。そのために、幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「人間関係」についての理解を中心に置きつつ、保育者をめざす者自身の存在にも意識を向けることができるようにする。					
授業計画					
コマ(回)	項目		内容		
1	学習の前に		イントロダクション (目的・方法・評価)		
2	人間関係とは		①自分もほかの人も大切にすること ②私たちにとっての人間関係		
3	領域「人間関係」と保育		①「領域」の基本的な考え方 ②領域「人間関係」の目指すもの		
4	0歳児の人とかかわりと保育		①胎内～出生 ②出生～3か月未満 ③3か月～おおむね6か月未満 ④おおむね6か月～		
5	1歳児の人とかかわりと保育		①広がっていく世界 ②自己主張 ③自分のモノ・友達のモノ		
6	2歳児の人とかかわりと保育		①2歳児とは ②人とかかわる力の育ちと保育		
7	3歳児の人とかかわりと保育		①3歳児の遊び ②子どもの考えの広がり ③3歳児の人間関係		
8	4歳児の人とかかわりと保育		①遊びを通して育つ ②生活を通して育つ		
9	5歳児の人とかかわりと保育		①5歳児という立場とその発達 ②コミュニケーションと試行錯誤		
10	気にかかる子どもへの援助		①ある子どもが「気にかかる」場合の二つの留意点 ②子どもが求めていることをどう見るか		
11	特別な支援を必要とする子どもへの援助		①この演習の目的 ②レイ君の事例を通して考える		
12	育ちを支える保育者同士の人間関係		①子どもの育ちを支える保育者同士の関係とは ②複数担任の一人として③園内の保育者の一人として		
13	育ちを支える保護者と保育者の人間関係		①大切な信頼関係 ②保護者との対応		
14	育ちにかかわる「私たち」の人間関係		①子どもの人間関係の育ちにかかわる「私たち」とは		
15	さらなる学びへ向けて：まとめ		①演習の振り返りとその先の課題		
定期試験	なし				
テキスト	「演習 保育内容 人間関係」 田代和美 松村正幸 編著 建帛社				
参考図書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省刊 「保育所保育指針解説書」厚生労働省編				
教員の評価方法	学習への関心・態度(20%)、課題解決への取り組み状況(討議・レポートの内容等)(80%)により総合的に評価する。				
準備学習等履修上の留意点	テキストと講義資料を読んでくること、レポートや小論文の提出				